

週刊住宅

2019年(令和元年)8月5日号

NO. 2872 (毎週月曜日発行)

年ぎめ購読料 18,500円 本体・送料込み(税込み19,980円)

発行所 株式会社週刊住宅タイムズ

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-4 巴ビル

電話03-3234-2050 FAX03-3234-2070

問い合わせ:info@sjt.co.jp 情報提供:press@sjt.co.jp

CFネット流 新・大家実践塾

相続税圧縮は不動産投資として成り立っているか
だ。基本的な投資の知識を
身に付ける必要がある。

●「表面利回り」のうそを見破る方法
まずは表面利回り。想定年間収入を物件価格で割り出す。例えば年間600万円の家賃収入を見込む不動産が1億円なら表面利回りは6%。収益物件の値付けは

「相続対策の不動産投資の仕組み⑥」

75

表面利回りを基準に決定することが多いが、結構いい加減であてにならない。
・家賃のうそ
想定家賃は売り主が設定した家賃だ。相場賃料との乖離がないか調べる。新築賃料はアテにならない。
一方、新築未入居物件も想定賃料でしかない
いわけではない。

無理して高い賃料で入居している場合が多い。売り主の工夫次第で利回りを調整できるためだ。
そうした点を理解するこ

とが大事。近隣の賃貸業者に大家相場を聞いたり、信頼できる借り上げ業者に責

表面利回りに騙されない

節税と投資は両税額圧縮の輪

裕

〒247-005

■鑑査鑑定 小林雅

6 神奈川県鎌倉市大船2-19-35 CFネット鎌倉ビル
電話 0467-22-7722、携帯 080-4196-1167 ファク
ス 045-330-5773、個人ファックス 04668-11851
50万円(NOI)である。購入経費を1,200万円を勘案して算出した利回りはFCRという。例えば価格1億5,000万円、表面利回り7% (=想定年間収入6,200万円 ÷ 1億6,200万円)とする。すると、購入総額は1億6,300万円(FCR)。4・63%が本当の利回りとなる。次回はローン借り入れと不動産投資との関係を説明する。

率は勘案していない。地方の物件の表面利回りは高く都心の表面利回りが低い。だから空室率と未回収損を差し引く。都内の良い場所で5%だとすると1,000万円かかる。仲介手数料や不動産取得税、登録免許税などだ。
が空室率を勘案すると、実際の表面利回りはどうやらもう少し変わらない。今後の人口動態を勘案すると都心物件は満室想定で、そこから空室率と未回収損を差し引く。都内の良い場所で5%だとすると1,000万円かかる。仲介手数料や不動産取得税、登録免許税などだ。
CFRとはキャッシュフロークリーランク差し引き950万円からいう計算手法を使い家賃(EGI)。EGIから年を市場家賃に引き直す。空室率や運営経費、購入経費を引くとネットの収入は7

0・4668・11851